

## 新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン

本ガイドラインは、公益財団法人日本スポーツ協会、一般社団法人日本バトン協会、大阪府の新型コロナウイルス感染拡大防止の方針を踏まえ、第38回関西バトントワーリングコンテスト開催に当たり、日本バトン協会関西支部としての留意点をまとめたものです。

## 1. 全般的な事項

- ・感染防止の為に主催者が実施すべき事項、参加者が遵守すべき事項を整理して提示する。
- ・各事項が遵守されているか、会場内を定期的に巡回、確認する。
- ・万が一感染が発生した場合に備え、個人情報取り扱いに注意しながら、当日参加者より提出された書面を1ヶ月以上保存する。
- ・終了後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応について、丸善インテックアリーナの立地する大阪府の衛生部局と予め検討しておく。

## 2. 主催者の感染予防対策

- ・丸善インテックアリーナは基本的に換気ができている施設ではあるが、重ねて更衣室以外の全ての扉を開けて密閉空間にならないようにする。
- ・無観客での開催とするが、選手ひとりに保護者ひとりの入館は認める。
- ・招待状に替えて、無観客開催のお知らせを郵送する。
- ・密を避ける為に出店、写真撮影ブースは設けない。
- ・アリーナ内には同時に3000人、メインには150人、サブには60人を上限とする。その為種目毎に受付時間を時差にする。ウォームアップも短時間で行い、選手と選手の間隔を確保する。
- ・入館も時差で行い、チェックシートの提出、手指の消毒、検温をする。37.5度以上の熱があった場合は入館できない。また、入館時に外したマスクの保管用に抗菌マスクポケットを配布する。
- ・厚生労働省のCocoaアプリを全員ダウンロードを義務付ける。
- ・開場は例年は30分前だったが、余裕を持って1時間前から開場する。
- ・開会式、閉会式は司会者による宣言のみで、簡素化する。
- ・密を避ける為に、例年のような当日に賞を渡すのは見合わせ、後日参加団体にメダル、賞状、スコアシートを発送する。
- ・演技中を除いて、常にマスクの着用を義務付ける。演技中のマスクの着用は参加者の判断によるものとする。
- ・入館前、サブでのリハの前、メインでの本番へのチェックイン前の場所には、ソーシャルディスタンスを取るためのステッカーを貼る。

- ・通路や階段が密にならないように、館内は一方通行とする。
- ・こまめな手洗い、消毒をする為に消毒液は必要と考えられる所全てに設置する。トイレには石鹼液が設置されている。
- ・更衣室は密にならないように大会議室を使用する。
- ・選手席、一般席に使用する観客席は前後左右に並ばない千鳥格子になるように指定する。また、使用した座席を立つ時には消毒を義務付ける。
- ・競技コートの正面に VTR 撮影許可証を購入した保護者が撮影できるゾーンを設ける。自席でも撮影は可能とする。
- ・人と接する実行委員はフェイスシールドを、審査員はマウスシールドを着用する。
- ・司会者と司会者付き、音響担当者の間にはビニールの仕切り板を設置する。また、審査員が複数になる場合も、アクリルの仕切り板を置く。
- ・設営はもちろん、後片付けも実行委員で行う。
- ・基本的に係員はおかず、実行委員も最低限の人数で運営する。
- ・役員、審査員、実行委員は自己責任において運営に携わる同意書を提出する。

### 3. 参加者が遵守すべき事項

- ・感染防止の為に主催者が決めた措置を遵守し、主催者の指示に従うこと。
- ・以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる。
  - ①体調が良くない場合
  - ②同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる場合。
  - ③過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。
- ・入館の際にチェックシートを提出し、手指の消毒をし、検温を受ける。
- ・入館、ウォームアップコートに入る前はソーシャルディスタンスを守って並ぶ。
- ・マスク着用のこと。演技中のマスク着用は自由とする。外したマスクは配布された抗菌マスクポケットにて保管をする。
- ・こまめな手洗い、手指の消毒を行う。
- ・他の参加者、主催者側スタッフとのソーシャルディスタンスを取る。
- ・大きな声での会話や声援はしない。特に移動の通路に気を付ける。
- ・応援は拍手のみとし、声援はしない。
- ・食事は、手洗い、手指の消毒をし、選手席、一般席で会話を控える。
- ・ゴミは各自で持ち帰る。
- ・演技終了後は使用した座席を消毒し、帰宅する。
- ・終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に速やかに報告すること。